

・ 荒井塾長あいさつ

「インドネシアの残留日本兵」



6月はいろいろなことがあって何を話そうか迷いました。先月は韓国の話。それははまだ続きがある。大リーグでの大谷や吉田の活躍も気持ちが良い。今月はやっぱり天皇皇后陛下のインドネシアご訪問だろう。

その中でも太平洋戦争で敗戦後も帰国せずインドネシアに残った残留兵と呼ばれる人たちのことだ。残留兵はインドネシアだけでなく松田道雄の小説「ビルマの豎琴」で水島上等兵がビルマで豎琴を弾きながら引き揚げ船で帰国する戦友を見送る場面は心打つ名場面だ。英霊を葬らずに自分だけ帰国することが申し訳なく、この地に留まろうと決心する。そして、水島は出家し、本物の僧侶となったのだった。

私は2度のインドネシア暮らしで残留日本兵の事を知り、調べた事がある。両陛下が訪れたカリバタ英雄墓地に日本人も祀られている。なぜ日本の兵隊がインドネシアに残ったのか。話がアッチコッチに飛ぶが戦争中に第16師団がジャカルタからバンドン方面へオランダ軍を追い詰めて7日間で勝利しインドネシア人が歓喜した事があった。この時の司令長官(今村均)は敗戦後に自粛した態度が立派だった。



両陛下はジャカルタにあるカリバタ英雄墓地を訪れ献花された。昨年 8 月には吉田圭秀陸上幕僚長もそこへ行っている。この墓地はオランダとの独立戦争で死亡したインドネシア兵が眠る国立の追悼施設だ。両陛下は 6 月 20 日に供花された。

日本の歴代の首相もインドネシア訪問時には立ち寄っている。

一角に残留日本兵 28 人の墓標がある。旧日本軍は 1942 年 3 月から 45 年 8 月までインドネシアを占領統治した。敗戦後も一部の日本兵はインドネシアに留まり、インドネシアの独立戦争に加わった。

およそ千人のうち半数が戦死したり行方不明になったりした。



スカルノ大統領は戦死した二人の日本兵に感謝の意を示すため東京の青松寺(港区愛宕)に石碑を残し「市来龍夫君と吉住留五郎君へ 独立は一民族のものならず 全人類のものなり」と刻んで残留日本兵の独立戦争への貢献を評価した。

インドネシア独立後、残留日本兵が歴史の舞台で日が当たることはなかった。日本では脱走兵と見做され、年金も受けられなかった。インドネシアでも 63 年まで無国籍だった。戦後進出した商社の現地社員として働いた人もいた。95 年に日本政府から両国の友好親善と相互理解への寄与について表彰され名誉回復した。2014 年に最後の一人が亡くなり、残留兵が連携や支援目的に 1979 年に結成した「福祉友の会(ヤヤサン・ワルガ・プルサハバツタン)は 2 世、3 世に活動の中心が移っている。

戦後の経済支援を通じインドネシアの親日感情は強まった。しかし、日本軍が占領統治で圧政を強い過去が精算されたわけではない。慰安婦の報道も残っている。

福祉友の会の代表は 6 月 19 日天皇・皇后両陛下と面会した。インドネシアが目指す 22 年後 2045 年の先進国入りに向け、両国が手を携えるとき、関係の基礎を築いた残留兵も報われる事でしょう。(残留兵の活躍と不幸な物語はいっぱいあり、涙無しには前へ読み進めない)

天皇陛下が帰国前日 6 月 22 日に訪問されたジョクジャカルタのボロブドール寺院
8 世紀に建立された世界最大の仏教遺跡—世界遺産





1991年上皇ご夫妻もここに来られた



ボロブドール寺院の直ぐ近くにある
ヒンズー教寺院「プランバナン」
9~10世紀に立てられた世界遺産

完



笑楽日塾6月 Zoomオンライン塾会報告

今期日 2023年6月8日 19時30分~20時20分

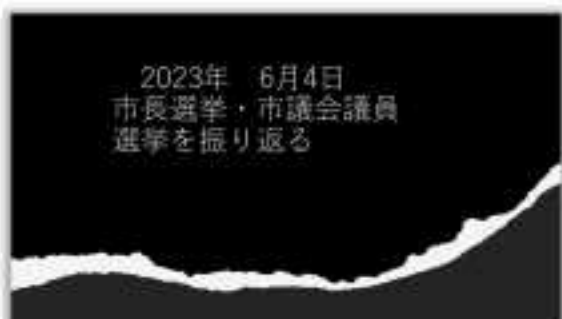
会場 各自自宅

出席者 内田、高木、先崎、吉田、新井齊、星、清藤、荒井

欠席者 菊地、新井(邦)、南、荒川、八木

1. 蕨市市長選挙 市議会議員選挙を振り返って

荒井から Powerpoint66枚を使って5月28日~6月3日の選挙運動の様子、6月4日の選挙結果速報値などを説明した。



塾生(吉田さん、高木さん)がある市議会議員候補者の車に乗って、マイクを握り呼びかけていた。

この候補者は4位で4回目の当選を果たした。保守系見所属の市長候補はまたしても及ばず、共産党籍の頼高氏の5選を許した。



2. なぜ頼高さんは5選を果たせたのか。

塾生各位からいろいろな見方が披露された。

集約すると「頼高さんのきめの細かい各所訪問・日頃の挨拶、親しみやすい笑顔、分かりやすいお話」が須賀候補を上回ったから。

過去4回の市長選挙結果を見ても、頼高さんが圧勝していた事が分かる。

市議会議員のうち、当選した共産党4名が獲得したのは5000票だけ。

一方、その支持者以外の11,000人以上が頼高さんへ投票した。

保守系は次の選挙でも頼高さんには勝てないだろう という見方が多い。

その背景は次の数字から読み取れる。

◆過去3回の選挙結果

2007年				
当	頼高英雄 1万7815票	VS	庄野拓也 (自民・公明推薦) 1万4506票	落
2011年				
当	頼高英雄 1万9365票	VS	三輪栄 (自民推薦) 1万622票	落
2019年				
当	頼高英雄 1万6989票	VS	鈴木直志 (自民推薦) 1万684票	落

※敬称略。2015年は無投票

過去3回 現職VS自民系

蕨市長選は、頼高氏が初当選した2007年を含め、19年の前回選までの3回の選挙戦はいずれも頼高氏と自民系候補が争う構図が続いている。頼高氏が3選を決めた15年は無投票だった。
 今回の投票日は6月4日。3月1日現在の選挙人名簿登録者数は5万9663人。

保守系が獲得した票は2007年の庄野氏が最高で14,506票、今回の須賀候補はそれにも及ばなかった。2019年無名の新聞記者・鈴木直志は10,684票獲得した。

今回は保守系の衆参国會議員が5人も入り込んで応援したが、末端に響かなかった。

須賀候補は12,413票だけだった。彼の支援者の多くが今回は勝てると思っていたようだ。

14版 2023年(令和5年)6月5日(月)

蕨市長選の得票

当	16,880	頼高 英雄	59	無 現
	12,413	須賀 敬史	56	無 新
				= 確定得票

107人
回氏は全国で唯一、共産党籍を持つ市長。今回は、

3. 蕨市民が選んだその不思議な行動とは

同時に行われた市議会議員選挙では共産党系と保守系の候補者の票は、圧倒的に保守系が多い。しかし、市長選挙では頼高さんが選ばれた。それは頼高さんの人柄にあると言えよう。

12 年前に須賀さんが県議になれたのは民主党が失政して、福田さんが敗れた幸運があった。その後は対抗馬もなく順調に 3 期務めた。しかし、その活動が市民に伝わってこなかった。

4. 4 年後はどうなるか

このままでは 4 年後も変わらないだろうと見られている。保守層支持者は悔しいだろうが、話術、人柄、姿勢の低さなど頼高氏を超える人物が現れない限り、4 年後も頼高さんで決まるだろうという見方が出ている。

蕨市議選の確定得票			
4 日投開票			
(定数18—候補者数23)			
当	2,732	小林 利規	58 無前④
当	1,965	大石 圭子	66 無現③
当	1,640	榎本 和孝	43 無現④
当	1,602	前川 康恵	57 無現④
当	1,515	鈴木 智	57 共現⑥
当	1,508	栃本 由兼	62 無新①
当	1,505	金丸 謙二	42 無新①
当	1,449	鈴木慎乃助	43 維新①
当	1,362	古川 歩	53 無現③
当	1,347	岡田三喜男	51 無新①
当	1,285	宮下 奈美	47 共現③

当	1,285	宮下 奈美	47 共現③
当	1,264	大石 幸一	60 公現⑤
当	1,228	矢嶋 聡子	50 公新①
当	1,145	本田 貞子	61 公現②
当	1,113	山脇 紀子	50 共現⑦
当	1,079	武下 涼	32 共現②
当	1,033	庄野 航二	52 無新①
当	985	比企 孝司	70 無前⑤
△	968	高橋 野枝	48 無新
△	830	一関 嶺	30 立新
△	817	竹脇 大	41 無新
△	311	大利 和也	59 無新
△	159	亀田 祐一	40 無新

※丸囲み数字は当選回数。落選者の△は法定得票に達した人

完



「シニアの風」

(順番制で行います。)

2023年7月「シニアの風」投稿は内田 茂さんですので宜しくお願い致します)

「落語に学ぶ江戸の人情」

星 広行

古典落語は大きく分けると「人情噺」と「滑稽噺」になりますが、「芝居噺」や「怪談噺」を加えて4種類に分けることもあります。

庶民が主役の人情噺には「子別れ」「唐茄子屋政談(とうなすやせいだん)」「文七元結(ぶんしちもっとい)」「芝浜」「火事息子」他、数多くあります。



落語に登場する江戸の庶民は喧嘩っ早くて、義理人情に厚く見栄っ張り。江戸の時代を生きた人々の様々な暮らしぶりが、聞いている私達を楽しませてくれます。ある日偶然聴いた人情噺がそのときの私を取り巻く環境と調和したせいか、思わず引き込まれたことがあります。



五代目古今亭志ん生の「しじみ売り」。私が初めて子の親になった時に聴いたせいか、ネズミ小僧としじみ売りの少年の掛け合いに思わず涙してしまいました。また、母親を亡くした後に聴いた「浜野矩随(はまののりゆき)」は、母親の子供に対する愛情の深さを思い知らされ「もっと孝行しておけばよかった」と後悔もしたものです。

人情噺をウィキペディアで探すと、『落語の演目の中のひとつのカテゴリである。一般には親子や夫婦など人間の情愛を描いた噺を指しており、「大ネタ」と呼ばれる長い噺が多い。』と書かれていました。

「義理と人情」。古臭い言葉に聞こえますが、江戸の庶民は生活の根幹をなすものとして大切にしていたのでしょう。

とは言いましても、私の場合は噺の内容が重たい人情噺や怪談噺は少々苦手。気楽に笑い飛ばせる滑稽噺を好んで聴いています。

これからは一方に拘ることなく幅広く、何事も自然体で受け入れて生きたいと思います。



以上



八木 守

第10段階

入麿垂手

(町に出て生活する)



さて、十牛図も今回で最終段です。
長い間お付き合いをして頂き、ありがとうございました。
今回のお話しは第10段階 入麿垂手(町に出て生活する)です。

入麿垂手 - 悟りは開いたとしても自分ひとりで、そこに止まっていたは無益です。再び世俗の世界に入り、人々に安らぎを与え、悟りへ導く必要があります。

図に描かれている布袋(ほてい)さんは、中国の唐の時代の禅僧がモデルとされ、日本では七福神(しちふくじん)の一人として知られています。大きな袋には、人からもらったものが入っており、人に会うとそれを取り出して、あげていたということです。

さて、この布袋さんは、牛を探していた、かつての旅人です。目標を見つけ、見失っていた自分を取りもどした旅人は、町に行って人々と交わります。

身なりにこだわらず、威厳(いげん)もありません。仏教で禁じられているお酒も飲むし、魚も食べます。そうして、出会った人の考えや行いに影響を与えていきます。そして、それは同時に自分自身の成長にもつながっていくのです。

その人は胸をあらわにし、はだしになって町に入ってきました。土にまみれ、泥をかぶりながらその顔は笑いに満ちています。仙人が持っているという不思議な力があるわけでもありません。

ただ、枯れ木に花を咲かせるように、人々を救っていただけです。

まとめ

「十牛図」とは、人が悟りの境地に至るまでの段階を10枚の絵で表したものでした。全員が最終的な悟りの境地にまでは至るわけではありませんが、これらのプロセスを知ることは、私たち一人ひとりが内的成熟を進めていく上でとても参考になるものと考えます。

また、このプロセスを歩んでいくことは、自分自身が成熟していく道りでもあり、自分自身を解放していく道でもあります。このプロセスを進めていくには長い年月がかかり、また良き師との出会いも必要になってくるでしょう。長い道りですが、「ありのままの自分」で一歩ずつ歩んでいきましょう。

～完～